

## 意欲

校長 石原 加代子

若葉の新緑がまぶしい季節になりました。初夏を思わせる校庭に、子どもたちの歓声が聞かれ、元気いっぱい活動する様子に喜びを感じています。保護者の皆様におかれましては、感染症予防の健康観察など、ご配慮・ご協力をいただきありがとうございます。

新年度が始まり、約3週間が過ぎました。新しい学年になり、様々な場面で真剣な表情や素敵な笑顔を目にしています。どの学年も、自分の目標に向かって頑張ろうとする意欲がみなぎり、輝いています。特に6年生は、委員会活動やクラブ活動でも、中心となって活動し、一日一日最高学年の顔になってきています。これからも、日々の教育活動を通して自分が深谷小を創っていくという意欲を高め、一人ひとりが学校全体のリーダーとして育っていくのが楽しみです。

本校では、たてわり活動の充実による豊かななかかわりを通して、異学年同士のつながりを深め、自己有用感を高められるようにしています。ペア学年である1年と6年の教室を同じ2階に配置することで、日常的なかかわりを増やすようにしました。登校して朝の支度が終わった6年生が、1年生の教室に来て優しく声をかけていることがよくあります。

1年生は、共育ボランティアネットワークの方々にも温かく見守っていただいています。新1年生ボランティアの方々は、お子さんが在籍している方だけでなく、卒業生の保護者の方もいらっしゃいます。卒業しても、深谷のまちの子どもたちと一緒に育ててくださり、ありがたいことです。困ったらすぐに相談したり、わからないことがあると質問したりして、多くの大人の目があることで、のびのびと安心した表情がたくさん見られます。

しかし、自分でできることは手伝いすぎないようにしています。3月まで保育園や幼稚園では、リーダー的な存在だったことでしょうか。保育園や幼稚園で培った力を活かして、自分でやってみたいという意欲を大切にしながら主体的な学びにつなげていきたいと考えています。本校では、今年度から幼保小連携推進事業を実施します。小学校生活への円滑な接続ができるように試行錯誤し、よりよいスタートカリキュラムに努めていきます。

新しい環境に不安を感じている子どもたちもいるのではないのでしょうか。初めての学習や経験がたくさんあり、不安を感じるのは当たり前です。私たち教職員は、不安を取り除くように子どもたちに寄り添い、全ての子どもたちが安心して楽しく学校生活を送ることができるように支援してまいります。そして、自分の目標に向かって頑張ろうとする意欲を継続し、よりよい成長を促すよう全力で教育活動に取り組んでまいります。

さて、本校卒業生である中村俊輔選手の50周年記念講演会が5月に決まりました。母校の子どもたちのためにご来校いただきます。夢や目標に向かう意欲がさらに高まる、忘れられない一日になることでしょう。

50年のバトンを未来へ  
～優しさつなぐ深谷っ子～

